

流山とりだより

流山野鳥同好会

No.146

2024年1月10日



●メジロ

ハナミズキの赤い実をついばむメジロ。

多い時には4羽が飛来して、ハナミズキの赤い実をついばんでいた。

2023.11.09 東初石

撮影：森岩 好明

流山野鳥同好会のみなさま

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

当会が1992年2月に設立してから今年2月で33年目となります。三人の鳥好きが同好会を作ろうと決起し、新川耕地で1992年2月16日第一回観察会を開催しました。新聞での告知もあり集まったのは184名の人たちです。新川耕地は参加者で長蛇の列となりました。鳥たちもさぞ驚いたことでしょうね。ホームページ・あの日の観察会「遙か」に当時の記事を掲載しています。

そんな創設期から時が過ぎ、100名を超す会員は、退会、高齢化により減少してきました。そこに追い打ちをかけたのが、ご存じのようにコロナ禍による2020年から2021年にかけての2年ほどの観察会中止です。会員の減少は、同好会の自然消滅ギリギリのところまで来ていました。

そのような低迷するなかで「これではいかん」と幹事さんが立ち上がり、ホームページの開設、新会員募集へと動き出したのです。そしてその甲斐が実り、45名だった会員は、現在60名まで回復することができました。

さらに会員の皆さんにお願いしたアンケートを基に、観察会や催しなど楽しい同好会になるよう見直したいと思っています。ただ現在5名の幹事さんだけでは手が足りません。会員の皆さんに、「参加する」から「協力する」へをお願いをしたいと思っています。みなさんが協力し易いように、会の役割を主に探鳥部、会員部、広報部にわけました。詳しくは同封の組織図をご覧ください、各部のファシリテーター（まとめ役）に声掛けしていただけると、大変うれしい限りです。

観察会での会員同士の声掛け、安全確保、ホームページへの投稿など些細なことから繋がりを広げていただければ、幹事一同大喜びです。

まずは応援会員としてご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。共に夢は大きく、楽しい同好会にしていきたいと思います。

流山野鳥同好会代表 相馬利雄



観察会から

● 11月（第294回）定例観察会 利根運河・西深井 2023年11月19日

相馬利雄

11月とは思えないほどの、雲ひとつないなんと清々しい晴天でしょう。10月15日、29日と雨で中止になったことが恨めしい、今日の太陽パワーを半分わけて欲しかったな…天気はわけられないな…。っと、愚痴はこれくらいにして早速、利根運河を観察しましょう。

今日の秘密兵器は、カモの識別表です。各種派手なオスは何とか見分けられますが、メスとなったらみんな同じに見えて頭の中はごちゃごちゃ。オスとペアでいてくれれば良いのですが、メスだけ並べられたら勘弁してくれ～、お手上げ状態です。そこで思いついたのが、メスを中心とした比較表。クチバシの色は？ 体

の羽は？ 翼鏡は？ 脚は？ など横一線に並べると違いが見えてきます。流山で見られる主なカモ類のカルガモ、ヒドリガモ、マガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、ホシハジロを一覧表にしてみました。（欲しい会員さんに差し上げます。）運河親水公園にいたカルガモ、ヒドリガモはバッチリでしたね。

サギ類はコサギにダイサギ、アオサギは眼前を悠々と闊歩していました。ゴイサギの幼鳥（ホシゴイ）が水際の枯草に紛れていて、見つけた時にはなんと正面でにらめっこ。お互いにビックリ。赤い瞳が一層赤く輝いていました。

水面ではバンにオオバン、鳴きながら横切るのは、ハクセキレイにセグロセキレイ。忘れちゃ困ると「カワセミ君」も、チー、チーとアピールしていました。順光に輝く姿はさすがに際立っていましたね。

西深井では、ツグミがお出迎え。一瞬、ジョウビタキの背中の白紋が見えたのですが、飛び去ってしまい確信できずです。「チョウゲンボウがいます」の声にスコープを向けますが、なかなか見つかりません。やっと電柱の上に止まっていたオスの成鳥をセットすることができました。実は「眼力落ちたな～」と年のせいにして一人慰めていたのです。

最後に、におどり公園で鳥合わせです。26種を確認することができました。冬鳥たちが勢ぞろいしています。ゆっくりのんびりと楽しみましょう。



黒いクチバシ、先は黄色。



モヒカン頭は？



白いクチバシ、目は何色？



背中の星模様は？

< WEB 会員 >

お天気も良く楽しかったです。カワセミもゆっくり見れ、ゴイサギも初めて見れました。全体的にゆっくり見れたのが良かったです。カモの比較表もとても参考になります。ありがとうございました。(古川みゆきさん)

< 編集より >

お疲れ様でした。今冬はカモの違いをマスターしましょう。

◆ 観察した鳥

アオサギ、ダイサギ、コサギ、ゴイサギ、トビ、チョウゲンボウ、ヒドリガモ、コガモ、カルガモ、バン、オオバン、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

以上 26 種





足指は黄色です。



大きい白サギ。



グレイなのに〇〇サギ。

◆参加した人

遠藤悦子、落合 聡、川上和雄、菊池和子、栗原三八子、後藤邦宏、
近藤浄一、相馬利雄、相馬由佳、塚本清美、牧田浩美、牧田久寿、
森岩好明、吉田令子
(WEB 会員 牛山直美、牛山閃里 (小1)、古川みゆき、山本 忠、
塚本栄二、塚本恵美子)

以上 20 名

<写真：森岩好明>



全員集合

観察会から

● 12月3日（日）市外観察会 手賀沼（陸コース）

2023年12月3日

相馬利雄



まるで体操選手のように



ヨチヨチ歩きは



オス・メスのクチバシは？

集合は北柏駅です。集まったのは10名の会員、そして「我孫子野鳥を守る会」の千葉さん。地元の強みで応援をお願いしました。雲ひとつない快晴に恵まれ期待が高まります。

駅を出発し、先ずは「北柏ふるさと公園」へ向かいます。通り沿いの庭木には小鳥たちが楽しそうです。メジロ、シジュウカラにツグミ。突如、オスのジョウビタキが見え隠れ、鉄棒に止まる姿はまるで体操選手のようなでした。

昨年初めて「北柏ふるさと公園」を訪れて、是非今回も回りたいと思っていました。手賀沼特有の水辺の風景、ゆったりとした自然な環境に鳥たちも安心してくつろいでいます。陸に上がったオオバンの群れは、ヨチヨチと歩く幼児のようです。ここでもジョウビタキが、それも2羽のオスが縄張り争いなのか「そこどけ」状態です。コガモが池の縁でゆっくり休んでいました。

裏の水路では、ハジロカイツブリが2羽仲良く浮かんでいます。手賀沼は広いので、こんなに近くで見られるのはとてもラッキーです。コブハクチョウ、マガモ、ユリカモメなど、次から次へのお出ましでした。

橋を渡り「柏ふるさと公園」へ進みます。こちらは子ども用遊戯が充実していて人出も多い公園です。トイレ休憩をとり先へ進むことにしました。手賀沼のほとりを北千葉導水場へ向かいました。実は先週下見をしたのですが、小雨まじりの中、「北柏ふるさと公園」と「北千葉導水場」の間のアシ原を、タカの仲間の「チュウヒ」が飛んでいたのです。下を見ながら「チュウヒ」特有の低空飛行を……。もしやと探しましたが、気配はありませんでした。ちなみに、トヨタ車「ハリヤー」はこの「チュウヒ」のことです。

さて、「北千葉導水場」で早めの昼食をとり、ヒドリ橋まで足を延ばします。95番鉄塔の展望台を過ぎると、カンムリカイツブリが群れで浮かんでいました。このあたりが好きなようでいつも見ることができます。実は、「実はの話」がもう一つあるのです。先週の下見の時丁度このあたりで、ヒドリ橋付近の上空を巨大な猛禽類が帆翔していたのです。回転しながらゆっくりと……。トビがその猛禽類にからんだのですが、トビがかわいい程小さく見えるのです。「なんじゃあ、ありゃ〜！」・・・双眼鏡を持つ手が武者震いでした。

後日、逆光で真っ黒な証拠写真を、「鳥の博物館」の小田谷学芸員さんに同定していただいたところ、オジロワシの幼鳥または若鳥ということでした。手賀沼でも初記録ということでした。その後オジロワシの確認はないようなので、抜けてしまったのでしょうか。羽があって飛んでくるとはいえ、本当にビックリでした。

さて観察会とは、観察した鳥は29種。カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリの3種は分かりましたか？ もう一つ、「ミミカイツブリ」というのがいますから図鑑で見てください。これが分かれば、カイツブリは制覇です。がんばれ〜！



尾羽はバチ型



小さい白サギ



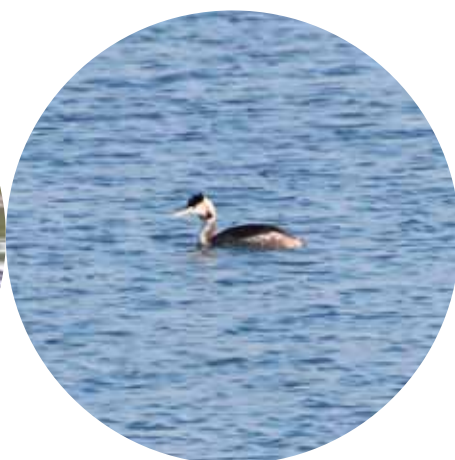
左足がない！がんばれユリちゃん！



カイツブリ



ハジロカイツブリ



カンムリカイツブリ

<編集より>

鳥との出会いは、偶然の賜物ですね。いつ、どこで、何に会えるか誰も分かりません。分かっているのは、行かないと出会えないということかな・・・。

◆観察した鳥

カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、トビ、コガモ、マガモ、カルガモ、バン、オオバン、ユリカモメ、キジバト、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

以上 29 種

◆参加した人

菊池和子、後藤邦宏、鈴木淑子、相馬利雄、相馬由佳、服部洋之、服部雅子、東原 聡、牧田浩美、牧田久寿
(我孫子野鳥を守る会 千葉 洋さん、ありがとうございました。)

以上 11 人

<写真：東原 聡>

観察会から

● 12月（第295回）定例観察会 野々下・総合運動公園

2023年12月17日

若林幹夫

12月の定例観察会は豊四季駅から野々下水辺公園へと下り、そこから畑と雑木林、草原の混在する古間木地区（「ふるまぎ」と読むんですね）を抜け、総合運動公園の工事でできた調整池（Google マップには「ふるまぎ水鳥の池（古間木調整池）」と書かれています）を経て、野々下の総合運動公園にいたるコースでした。

9時に豊四季駅南口階段下に集合したのは17人。挨拶と、その日のリーダーの相馬さんのコースや鳥についての説明の後、風が強くていささか寒い中を水辺公園に向けて歩き出しました。水辺公園ではセグロセキレイ、ハクセキ



カワセミ（森岩）

レイのセキレイ2種を、色、模様、鳴き声の違いなども確認しながらゆっくり観察できました。「上を大きな鳥が飛んでいる」という声に上空を見ると、トビが1羽飛んでいます。こちらにも翼の裏側のパターンと特徴的な尾羽の形を見ることができました。水辺公園を出たところの坂川では、護岸壁のよく見える場所にカワセミのメス（メスは下側のくちばしが赤いんです）、その先の葦原のあたりにアオサギ、コガモ、カルガモ、オオバンなどがいて、これらの鳥たちもじっくり見ることができました。

その後の調整池までのコースは、風が強かったせいか期待していたジョウビタキ、ツグミ類、モズ、ホオジロ類は残念ながら現われません。気を取り直して調整池で、水面に浮かんだたくさんのカモたちを観察しました。一番多かったのがマガモ。他にホシハジロ、ハシビロガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモを、スコープも使ってじっくり見ることができました。しかし、「ふるまぎ水鳥の池」というなら（公式名称なのでしょうか）、もう少し観察しやすいようにしてほしいですね。

水鳥を一通り観察した後、この季節なら観察できるはずの小鳥の数を総合運動公園内で稼ごうと試みましたが、残念ながら空振りに終わり、11過ぎに鳥合わせとなりました。観察できた鳥は、以下の通りの24種。



アオサギ (東原)



コガモ (森岩)



オナガガモ (森岩)

◆観察した鳥

カイツブリ、アオサギ、コサギ、トビ、ヒドリガモ、コガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、オオバン、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、シジュウカラ、メジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス
以上 24 種

寒い中、参加した皆さんお疲れ様でした。1 月には新川耕地でケリを見ましょう。来年もよろしくお願いします。

◆参加者した人

伊東 孝、遠藤悦子、大渡 修、川上和雄、菊池和子、栗原三八子、菅野文夫、鈴木淑子、相馬利雄、服部洋之、服部雅子、東原 聡、森岩好明、若林幹夫 (WEB 会員 岩淵恒彦、塚本栄二、塚本恵美子)
以上 17 名

<写真：森岩好明、東原 聡>



集合写真 (東原)

会報『流山とりだより』 充実にむけて——会員部からお願い

会員部ファシリテーター 若林幹夫

今年から会員部のファシリテーターを担当することになった若林です。

会報『流山とりだより』は、ホームページと共に会員の皆さんの情報交換と交流の場です。

会員のみなさんは普段どんなフィールドで、どんな風に鳥を見ているのか、市外のフィールドの紹介や鳥見の旅の報告、鳥にまつわる思い出、図鑑や図書の紹介など、会員のみなさんからの情報・原稿をお寄せください。数行の短い投稿や質問でもOKです。もちろん写真も大歓迎。「とりだより——フィールドノート拝見」への投稿も、これまで同様お待ちしております。

情報・原稿は下記まで随時お送りください。

●若林幹夫：mikio-wa@rf6.so-net.ne.jp ☎ 270-0127 流山市富士見台 1-367-49

ホームページと会報の連携も今後考えていきます。よろしくお願いたします。

会員のみなさん、どしどしお寄せください。

さて第1弾として、若林さんのフィールドを紹介します。

私のフィールド——近場で普段のバードウォッチング

若林幹夫

会員のみなさんは普段、どんな場所でどんな風に鳥を見えていますか？ 私の場合は朝、犬の散歩をしながら、ほぼ一年中鳥を見えています。今回はそんな私の普段の鳥見のフィールドを紹介します。

私が住んでいる富士見台と西初石の間に、農家・畑・雑木林・竹藪などの間を、車一台が通れるくらいの幅の道がくねくねと通っている、上新宿・北・小屋・南といった地区があります。ここでは春から初夏にかなり長い期間にわたってキビタキのさえずりが聞かれ、冬はツグミやシロハラ、シメ、アオジはもちろんアカゲラ、カケス、アトリなどが訪れます。4月末から5月中旬ならセンダイムシクイやエゾムシクイの声が聞かれることもあり、サンコウチョウの声も何年か前に聞きました。猛禽ならサシバ、ノスリ、オオタカ、チョゲンボウ、ハイタカなどを見ることがあります。今年の冬は12月になってツグミが大量に入ってきて、この地区を一回りするだけで50羽ほども見つかりました。シジュウカラ、メジロ、コゲラ、ヤマガラ、ウグイス、オナガなどの留鳥も、一年を通じて見られます。

ツグミ類といえば、流山街道の江戸川台駅入り口の信号のところから細い道を斜めに下っていった畑・柿畑・藪の入り交じったあたりもツグミが多く見られる場所で、アカハラも毎年やってきます。そこから北部中学校の方に上がった中野久木散策の森では、今の季節はツグミやシメなどが多く、春から初夏にかけてはキビタキ、センダイムシクイ、エゾムシクイなどの声を聞くことがあり、サシバやツミを見かけることもあります。

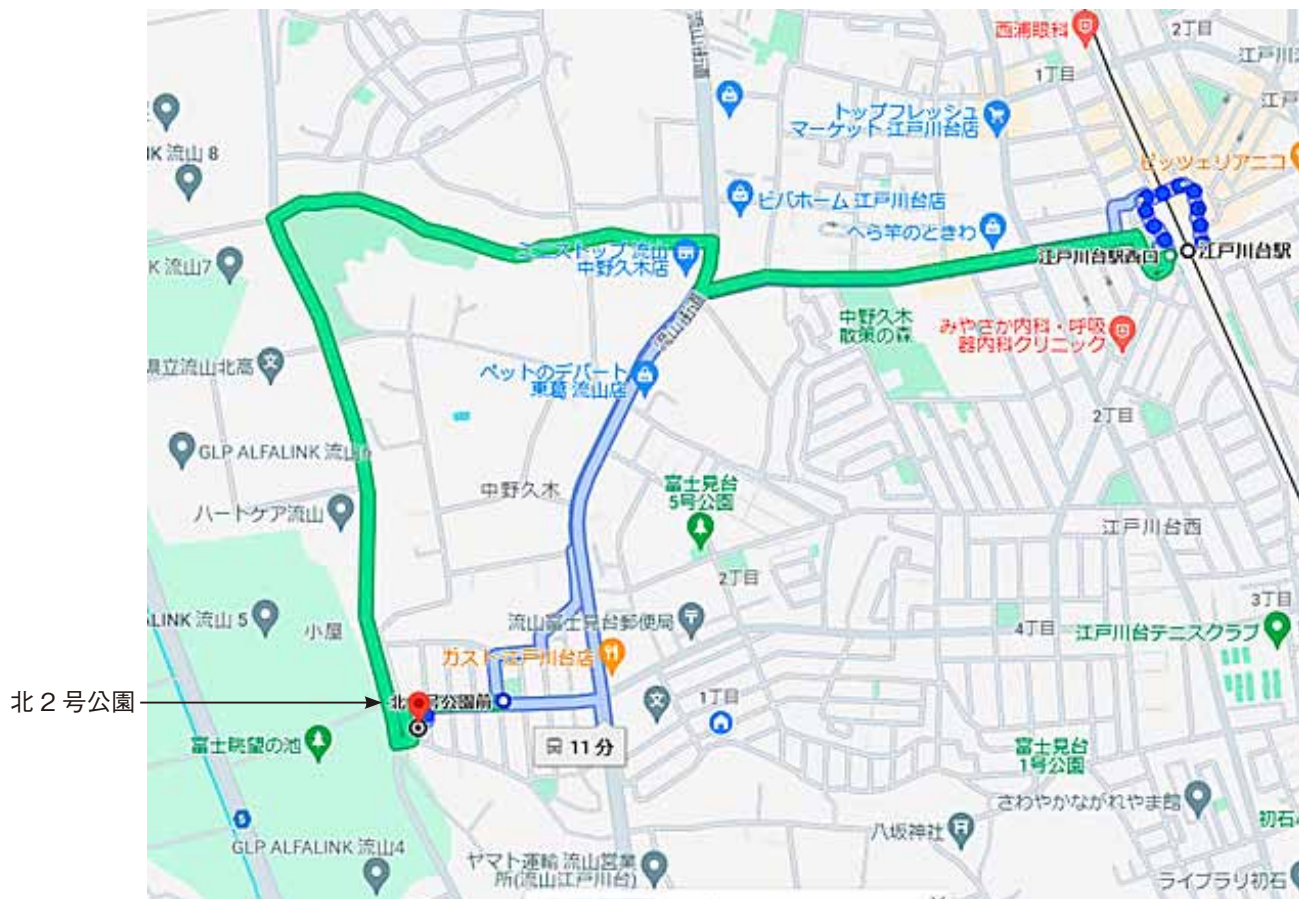
週に一度は新川耕地から江戸川方面にも足を伸ばします。巨大配送施設の建設ですっかり様変わりしてしまったこの地区ですが、ケリ、サギ類、カモ類、カワセミなどが田んぼや水路や調整池で観察でき、オオタカ、チョウゲンボウ、ノスリ、トビなどもよく見られます。ちょっと変わったところでは、コムクドリをほぼ毎年見ることができます。コムクドリは夏鳥として渡来するのですが、新川耕地の六兵衛の渡し跡のあたりでは夏から秋にかけてコムクドリの群れが結構見られます。

こんな風に私は一年中、ポケットに小型の双眼鏡を入れ、犬と歩きながら鳥を見ています。一年を通して近場のフィールドを繰り返し歩くと、どの季節にどんな鳥がどこに現われるのかという環境地図が自分の中にできてきて、「この季節ならあそこに行けばあんな鳥が見られるかも」と思って出かけるようになり、ときには思わぬ鳥に出会う可能性も高くなります。そんな近場のフィールドでの会員のみなさんの普段のバードウォッチングの報告、おすすめの場所など、今後この会報で教えていただけないでしょうか。皆さんの投稿をお待ちしています。

<編集より> 1月定例観察会は、若林さんのフィールドを周ります。

集合場所は、北2号公園。かつて鳥合わせや総会をした懐かしい公園です。現地集合ですので、地図を参考に各自お集まりください。

富士眺望の池～新川耕地を観察します。冬鳥のケリを見ましょう。また最近目撃されるコウノトリも見られるかもしれませんよ。



◆鳥だより——フィールドノート拝見

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。
 秋の終わりから冬、春の初めにかけては流山でも多くの鳥たちが見られる季節です。
 今季も冬鳥をはじめ多くの鳥が見られているようです。

新川耕地・江戸川地区

9月29日 …ツバメ、ケリ	若林幹夫
10月7日 …ケリ (7)、カルガモ、コガモ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、チョウゲンボウ、カワウ	若林幹夫
10月8日 …カワセミ、カルガモ、コガモ、ケリ	若林幹夫
10月20日 …チョウゲンボウ (3)	若林幹夫
10月22日 …カワウ、コガモ、カルガモ、ハシビロガモ、チョウゲンボウ、ダイサギ、アオサギ	若林幹夫
11月3日 …ケリ、コガモ、カルガモ、アオサギ、コサギ、ノスリ、モズ、カワラヒワ	若林幹夫
11月5日 …カルガモ、コガモ、タシギ、コサギ、アオサギ、キセキレイ	若林幹夫
11月11日 …ダイサギ、アオサギ、ノスリ (幼鳥) オオバン、カルガモ、コガモ、ケリ (7)、ハクセキレイ、セグロセキレイ	落合 聡 若林幹夫
11月18日 …ハイタカ (幼鳥)、ケリ	落合 聡
11月23日 …イタチ、コウノトリ、ノスリ (♂成鳥)	落合 聡
11月24日 …チョウゲンボウ (♂成鳥)	落合 聡
12月1日 …カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、ケリ (10)、タシギ、ツグミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キジ	若林幹夫
12月7日 …カルガモ、コガモ、ハシビロガモ、オオバン、カワウ、ノスリ、アオサギ	若林幹夫
12月8日 …カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オオバン、アオサギ、コサギ、ハシビロガモ、タシギ、ケリ (6)、タヒバリ、ハクセキレイ	若林幹夫
12月16日 …ケリ (12)、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オオバン、アオサギ	若林幹夫
12月24日 …コウノトリ (3)、カワウ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オオバン、ケリ、チョウゲンボウ、ハクセキレイ、ツグミ、シメ、ムクドリ、キジバト、ヒヨドリ、カワラヒワ、スズメ	若林幹夫

新川耕地・江戸川地区



ダイサギ 2023.11.11 落合



アオサギ 2023.11.11 落合



ノスリ (幼鳥) 2023.11.11 落合



ハイタカ (幼鳥) 2023.11.18 落合



ケリ 2023.11.18 落合



イタチ 2023.11.18 落合

利根運河・理窓公園地区

12月 2日 …メジロ

川上和雄

利根運河・におどり公園

10月 21日 …ニシオジロビタキ (初見、以後不明)

相馬利雄

野々下・古間木・総合運動公園地区

10月 29日 …マガモ、コガモ、ホシハジロ

相馬利雄・落合聡・若林幹夫

南流山地区

10月 25日 …シメ (10羽程度 上空通過)

相馬利雄

市野谷の森・流山おおたかの森・大畔地区

10月 3日 …エゾビタキ

菅野文夫

11月 2日 …ツグミ

菅野文夫

12月 4日 …シロハラ

菅野文夫

12月 10日 …ルリビタキ

菅野文夫

12月 19日 …ツグミ (100羽以上)

菅野文夫

東初石・美田・駒木地区

11月 4日 …ヒヨドリ、ジョウビタキ♀、メジロ

森岩好明

11月 5日 …ジョウビタキ♀

森岩好明

11月 9日 …メジロ

森岩好明

11月 11日 …ヒヨドリ、ジョウビタキ♀、メジロ

森岩好明

11月 13日 …ジョウビタキ♂、ジョウビタキ♀、メジロ

森岩好明

11月 15日 …ヒヨドリ、ジョウビタキ♀、シジュウカラ、メジロ

森岩好明

11月 25日 …モズ、ジョウビタキ♀、ジョウビタキ♂、シジュウカラ、メジロ、スズメ

森岩好明

11月 29日 …モズ、ジョウビタキ♂

森岩好明



コウノトリ 2023.11.23 落合



ノスリ (♂成鳥) 2023.11.23 落合



チョウゲンボウ (♂成鳥) 2023.11.24 落合

利根運河・理窓公園地区



メジロ 2023.12.02 川上

市野谷の森・流山おおたかの森・大畔地区



ルリビタキ 2023.12.10 菅野

東初石・美田・駒木地区



ジョウビタキ (♀) 2023.11.05 森岩

11月30日…ヒヨドリ、ジョウビタキ♀、メジロ
12月1日…ジョウビタキ♂、ジョウビタキ♀、メジロ
12月2日…ヒヨドリ、ジョウビタキ♀、メジロ
12月8日…スズメ

森岩好明
森岩好明
森岩好明
森岩好明

江戸川台東地区

12月21日…ジョウビタキ

若林幹夫

東深井地区

10月22日…ジョウビタキ

鈴木淑子

西初石地区

9月28日…モズ
11月4日…ヤマガラ

山下直樹
若林幹夫

上新宿・北小屋・若葉台地区

10月13日…モズ、オナガ、ツミ、カケス(5)、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、ハシブトガラス、
ハシボソガラス、メジロ、コゲラ、シジュウカラ、アカゲラ
10月16日…アカゲラ(2)、コゲラ、メジロ、シジュウカラ、モズ、ヒヨドリ(群れを複数)
10月26日…ジョウビタキ、カケス
11月1日…ツグミ、アカゲラ、カケス、モズ、ジョウビタキ、ヤマガラ

若林幹夫
若林幹夫
若林幹夫
若林幹夫

江戸川台西・富士見台・中野区木地区

9月29日…ヤマガラ
10月8日…アカゲラ
10月13日…杜鵑類(カッコウ?)
10月16日…アカゲラ
10月20日…ジョウビタキ♀

若林幹夫
若林幹夫
若林幹夫
若林幹夫
若林幹夫



ジョウビタキ(♀) 2023.11.11 森岩



モズ 2023.11.25 森岩



ジョウビタキ(♀) 2023.11.25 森岩

柏の葉公園地区



メジロ 2023.11.25 森岩



ジョウビタキ(♂) 2023.12.01 森岩



ヒヨドリ 2023.12.02 森岩

10月25日 …アカゲラ
 10月26日 …ジョウビタキ
 11月2日 …ツグミ
 12月1日 …アオジ
 12月2日 …シロハラ
 12月21日 …アカハラ、ツグミ、シメ
 12月23日 …シメ、ツグミ、キジバト、シジュウカラ、ジョウビタキ

若林幹夫
 若林幹夫
 若林幹夫
 若林幹夫
 若林幹夫
 若林幹夫
 若林幹夫

柏の葉公園

10月14日 …エゾビタキ、エナガ、シジュウカラ、ヤマガラ
 10月22日 …ジョウビタキ♀、ヤマガラ
 10月27日 …モズ
 11月29日 …シジュウカラ、アオジ

森岩好明
 森岩好明
 森岩好明
 森岩好明

手賀沼

11月26日 …オジロワシ (1, 幼鳥または若鳥)

相馬利雄

★「鳥だより」をお寄せください。

【通勤、買い物途中などで見かけた鳥の身近な観察情報、初認情報などをお待ちしています。
 【連絡先】若林幹夫 〒270-0127 流山市富士見台1-367-49 FAX:04-7154-6339
 e-mail:mikio-wa@rf6.so-net.ne.jp
 次号の「鳥だより」は3月20日までをお願いします。

柏の葉公園



ジョウビタキ (♀) 2023.12.02 森岩



スズメ 2023.12.08 森岩



エゾビタキ 2023.10.14 森岩



ヤマガラ 2023.10.14 森岩



モズ 2023.10.27 森岩



シジュウカラ 2023.11.29 森岩

◆ 今後の行事予定（詳細は順次、ホームページでお知らせします。）

● 1月（第296回）定例観察会（ケリを見よう！）

日時：1月21日（第3日曜日） 担当：若林
場所：新川耕地
集合：流山市 北2号公園（流山市北134-9） 午前9時（雨天中止）
解散：12時ころ 持物：弁当なし
・徒歩……江戸川台駅から徒歩20分程度（P11地図参考）
・バス利用……江戸川台駅西口8時41分発 京成バス（松71）松戸駅行き⇒
8時44分富士見台バス停⇒徒歩4分（料金170円）
・バス利用……江戸川台駅西口8時30分 <グリーンバス江戸川台西ルート左回り富士見台循環⇒
8時36分 北1号公園前⇒徒歩1分（料金180円）

● 会員限定 手賀沼船上観察会（カモ・カモン！）

〔注：Web会員は参加できません〕

<有料会員 15名限定申し込み制>

日時：2月4日（第1日曜日） 担当：相馬
出船 10時30分～戻船 11時30分
場所：我孫子市 手賀沼「ポートセンター小池」04-7184-7117
270-1155 我孫子市我孫子新田25-1
参加費：1,500円（当日、集合時に集金します）
集合：我孫子駅改札口前 午前10時
（現地集合の方は、10時20分「ポートセンター小池」で合流）
解散：12時ころ

● 2月（第297回）定例観察会（流山にこんな森があったの？）

日時：2月18日（第3日曜日） 担当：菊池
場所：大畔・水鳥の池
集合：初石駅 改札口前 午前9時（雨天中止）
解散：12時ころ 持物：弁当なし

● 会員限定 江戸川河口観察会（スズガモわんさか！）

〔注：Web会員は参加できません〕

日時：3月10日（第2日曜日） 担当：相馬
場所：江戸川河口
集合：東西線 妙典駅 改札口前 午前9時（雨天中止）
解散：13時ころ 持物：弁当持参

● 3月（第298回）定例観察会（カワセミ バンザイ！）

日時：3月24日（第4日曜日） 担当：森田
場所：利根運河・理窓公園
集合：運河駅 改札口を出て左側「運河ギャラリー」 午前9時（雨天中止）
解散：12時ころ 持物：弁当なし

● 4月以降の観察会は、「流山とりだより4月号」及び、ホームページでお知らせします。

★令和6年度分の会費納入についてのお願い★

1月中旬に年会費2,000円を同封の払込票にて下記口座へお振込み下さい。（ただし、家族会員は無料です。）

郵便振替口座：00130-3-608241 流山野鳥同好会

◆ チェックリストを同封しました。今年度の半年分です。鳥合わせにご利用ください。

◆ 新入会員の紹介

岩淵恒彦さん、よろしくお願ひします。

◆ 令和5年12月31日現在の会員数

単体会員42名+家族会員18名=合計60名

流山野鳥同好会会報 No. 146 2024年1月10日発行（年4回発行1月・4月・7月・10月）

発行人 相馬 利雄

連絡先 〒270-0163 千葉県流山市南流山6-27-11 TEL・FAX：04-7159-0972

携帯：070-9082-1239 Mail：t.souma1956@gmail.com

郵便為替口座 加入者名「流山野鳥同好会」 口座番号：00130-3-608241